



DNW-19021 の概要

課題番号 : DNW-19021

課題名 : 新規メチル化酵素阻害剤の探索

主任研究者 (Principal Investigator) :

星居 孝之 (国立大学法人千葉大学大学院医学研究院)

課題番号 DNW-19021 では、新規メチル化酵素複合体を標的として、新たな Mixed lineage leukemia (MLL) 再構成型急性白血病治療薬の創出に取り組んでいる。

- 創薬コンセプト :
新規メチル化酵素複合体の阻害による白血病細胞の増殖阻害
- ターゲットプロダクトプロファイル :
経口投与可能な低分子化合物による MLL 再構成型急性白血病治療薬
- 創薬コンセプトの妥当性を支持するエビデンス :
以下のことが PI らにより明らかにされている。
 - 1) MLL 再構成型急性骨髄性白血病細胞モデルと shRNA ライブラリーを利用した標的スクリーニングを行い、白血病細胞や骨肉腫細胞の増殖と生存において必須の役割を担う新規メチル化酵素複合体を見出した。
 - 2) メチル化酵素の新たな機能ドメインが、細胞周期の進行に依存した遺伝子発現の活性化に働き、がん細胞の増殖に必須であることを見出した。
- 最終目標 :
これまでに創薬例の無い新規性の高い標的を活用し、特異的ながん分子標的治療開発を目指す。

本資料は、創薬総合支援事業 (創薬ブースター) による支援の終了時の情報をもとに作成しています。